

T O P I C S

漆の用途を広げるコーティング技術

—漆塗膜へのコーティング技術による耐候性向上の研究—

繊維生活部 梶井紀孝(かじい のりたか)

kajii@irii.jp

専門：漆技術、工業意匠

一言：新しい技術、製品の開発を目指します



漆製品のインテリアや建築分野への用途開発を進めるには、日光や風雨による漆塗膜の劣化や、塗膜表面に付く傷が目立ち易いことが課題でした。

そこで、様々な無機・有機系コーティング剤を用いて、輪島塗、山中漆器の木製漆塗りコートサンプルを作製し、促進耐候性試験と屋外暴露による耐候性試験を実施しました。その結果、屋外1年相当の試験で、変褪色や光沢低下を1/2以下に抑制し、鉛筆引っかき硬度を1～2段階向上させるコーティング剤とコート条件を見い出しました。図1は、促進耐候性試験サンプルの例で、工業試験場で開発した変褪色し難いナノ黒塗りに無機(ガラス)コーティングすることにより、ほとんど変褪色しないようになり

ました。

輪島の(株)田谷漆器店では、この技術を活用して、従来より耐光性や防水性、防傷性を高めた漆塗りシンクを開発し、2月に東京で開催されたたいしかわ伝統工芸展の内装展示会で試作品を発表しました(図2)。

工業試験場では、漆の高性能化と漆の新用途展開に関する研究や、企業の製品開発を支援していますので、ぜひご相談下さい。

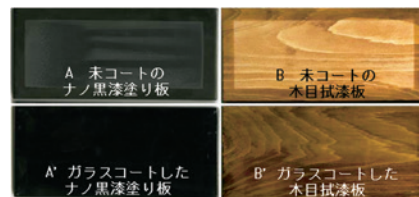


図1 屋外暴露1年相当の促進耐候性試験した結果

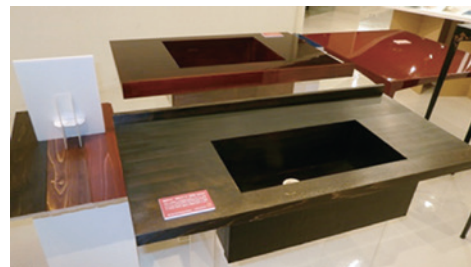


図2 ガラスコーティングした漆塗りシンク